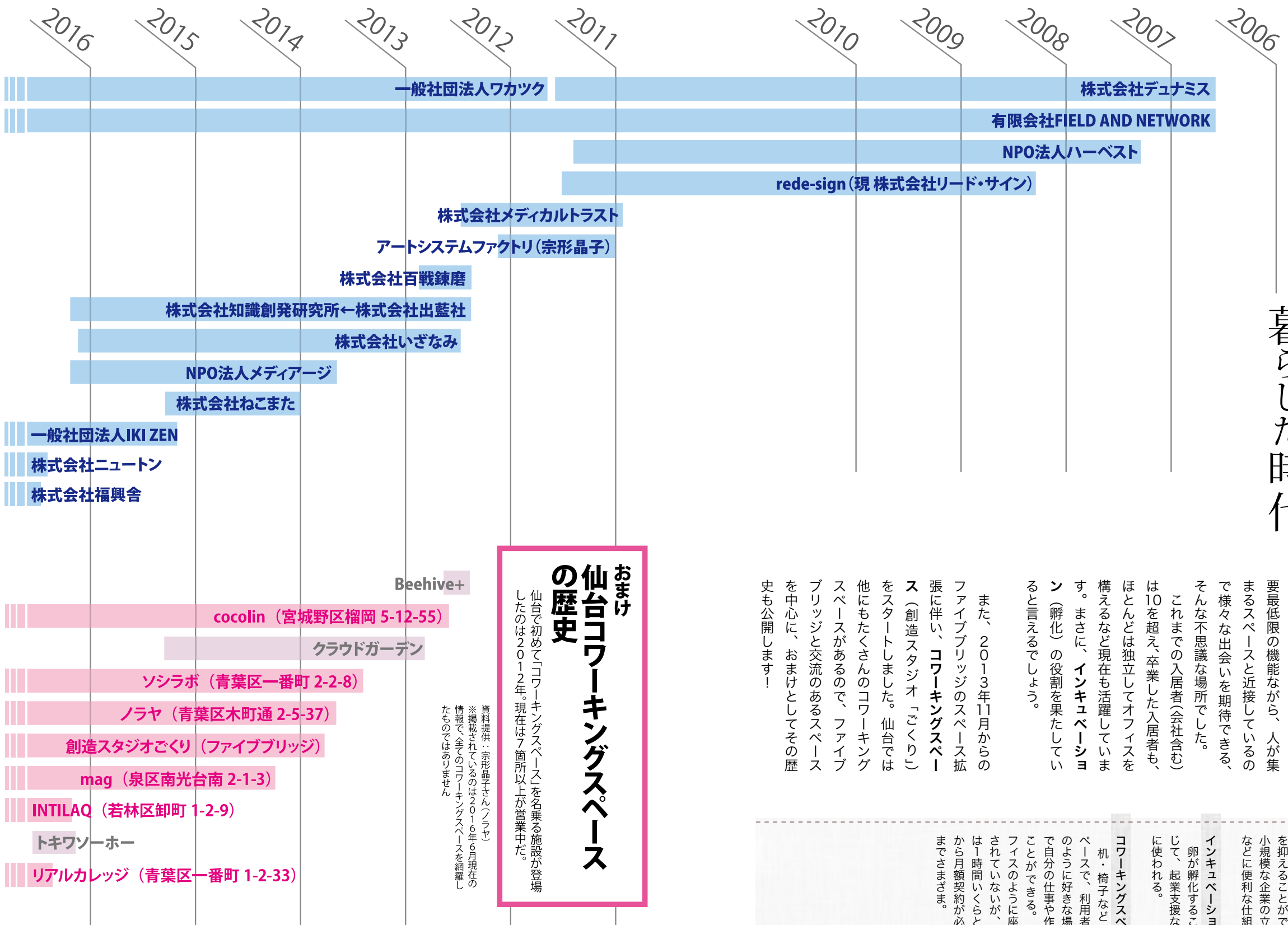


シェアオフィス これまでの入居者が 暮らした時代



おまけ の歴史 仙台コワーキングスペース

仙台で初めて「コワーキングスペース」を名乗る施設が登場したのは2012年。現在は7箇所以上が営業中だ。

資料提供：宗形晶子さん(ノラヤ)
※掲載されているのは2016年6月現在の情報で、全てのコワーキングスペースを網羅したものではありません

2006年6月にオープンしたファイブブリッジには、当初からシェアオフィスの機能があたりました。オフィスとしては必要最低限の機能ながら、人が集まるスペースと近接しているのが様々な出会いを期待できる、そんな不思議な場所でした。

これまでの入居者(会社含む)は10を超え、卒業した入居者も、ほとんどは独立してオフィスを構えるなど現在も活躍しています。まさに、インキュベーション(孵化)の役割を果たしていると言えるでしょう。

また、2013年11月からのファイブブリッジのスペース拡張に伴い、コワーキングスペース(創造スタジオ「ごくり」)をスタートしました。仙台では他にもたくさんコワーキングスペースがあるので、ファイブブリッジと交流のあるスペースを中心に、おまけとしてその歴史も公開します！

シェアオフィス
1つの物件(貸テナント等)を複数の企業・個人事業主が共有すること。家賃を抑えることができるので小規模な企業の立ち上げ期などに便利な仕組み。

インキュベーション
卵が孵化することから転じて、起業支援などの意味に使われる。

コワーキングスペース
机・椅子などのあるスペースで、利用者はカフェのように好きな場所を選んで自分の仕事や作業をすることができ、シェアオフィスのように座席が固定されていないが、利用形態は1時間いくらかという場所から月額契約が必要な場所までさまざま。